

CO患者下河さん墮死



改めて責任追及誓う

組合葬会社は線香もあげず



かねて熊本医学部附属病院に入院、後退症の治療をつづけてきていたCO患者の一人下河竹次さん(五十五才、荒尾市緑ヶ丘松町五十八棟)は、一月二十七日の一回目にひきつけ四月一日に起きた二回目の脳内出血で倒れ重態におちいって以来、妻の美枝子さん(五十二才)はじめ「なんとかもう一度」と願うまわりの人々の懸命な看病の甲斐もなく、二日前二時過ぎ絶命した。

CO患者の死は下河さんで六

残された遺族

遺族として残された人々は妻の美枝子さんのか、長女の鷹子さん(神奈川県相模原市厚生病院看護婦)、次女の歌子さん(介護士)から名古屋市の医学技術専門学校在学中)、長男の富士勇君(同海員学校在学中)という三人の

血のため危篤におちいった

大卒田市不知火町2番38番300号 電話(03)330-6004 郵便兼人手間600円

発行所
三池炭鉱労働組合
大卒田市不知火町2番38番300号 紀生共
編集部からおねがい
組合員・家族の皆さん、私たち
はますます重大な闘いをすすめ
います。このときこそ、大いに声
をあけましょう。本紙へどしどし
投稿・投書を寄せて下さい。

S 40 3 10 計
41 2 6
42 14
43 1 6
44年4月まで
O 9 6
6 10 16 7 13

三池炭鉱組織別死亡者数
C一二一スパイ機の発進基地
—厚木をかかえる大和市では、四月十一日の市議会で「EC一二一即時除去」を要
求した決議が保守系無所属、民社党議員の反対で否決され
市民の怒りを買っている。保守系議員のなかには「安保条約を結んでいく以上当然のこと」と

スパイ機発進に抗議高まる
大和市
【KNA】大和米海軍E
—大和をかかえる大和市では、三年ぶりに市民会議主催の抗議集会とデモが行なわれた。しかし、退去要求を述べただにもかかわらず、代表をおくって線香一本さげるなどさえしなかった。

CO患者の下河竹次さんが熊本病院で脳内出血のため憤死した。三池労組は組合葬をもつて遁すべきだったにもかかわらず、代表をおくって線香一本さげることさえしなかった。

CO患者の死は下河竹次さんが生前所属してきた松江地域分会の闘争本部で組合葬を宣んで故人をじらつたが、下河さんの死を草めた当の責任者である三井鉱山は、社葬をもつて暖く遇すべきところであるにもかかわらず、組合葬に代表をおくって線香一本さげることさえしなかった。その日、組合葬に参列した人々はそこにCO患者をあくまでマン殺しようとした。三川鉱人事をおどすれ、森田組合葬に参列した人々はそこにCO患者の死をあくまでマツ殺しようとした。三井鉱人事長を通じて、「下さんは明かに公傷死であるにもかかわらず、なぜ社葬をもつて遇することを許すのか」と抗議する問題である。後に残された遺族を守るために、同係長は冷たくもただ一歩

茂尻労組から
御礼状届く
このほど、さきに起きたガス爆発事故のため十九人の犠牲者を出した茂尻炭鉱労働組合(執行委員長・佐藤操次郎さん)から、挨拶状が寄せられてきた。これは三池労組からのカンパなどによる激励である。

茂尻労組は「こだえたもので、茂尻労組は

殉職者の意を無にすることなく、災害撲滅を期すと共に遺族の生活補償、負傷者(二十五人にのぼる)の早期回復のため全力を尽し、合せて石炭産業防衛、茂尻鉱の存続、安全販場の確立をめざしていこう」との決意を固めて

し開いてゆく」との決意を固めて

いる。

茂尻労組は「こだえたもので、茂尻労組は

殉職者の意を無にすることなく、災害撲滅を期すと共に遺族の生活補償、負傷者(二十五人にのぼる)の早期回復のため全力を尽し、合せて石炭産業防衛、茂尻鉱の存続、安全販場の確立をめざしていこう」との決意を固めて